

2025年 大阪・関西万博 開催までにできること

第2弾！

CHIHOMEN



2019.11.11 (Mon)



関西大学梅田キャンパス
(KANDAI Me RISE)

フィールドワーク&グループワークイベント開催！

4F Me RISE ラボ

フィールドワーク&グループワーク
歩いて発見 駅周辺活性化プロジェクト
2025 年大阪・関西万博までにできること

共催

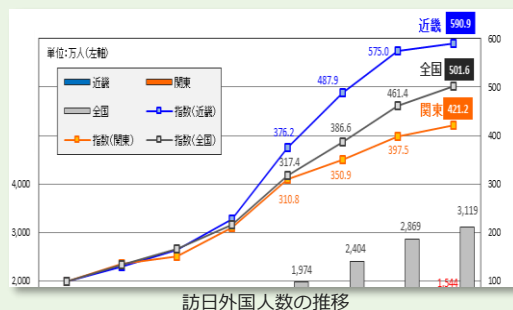
財務省 近畿財務局
西日本旅客鉄道 株式会社
学校法人 関西大学

Overview, Concept

◆ インバウンドの増加と関西経済への影響。

近畿では、中国をはじめアジアを中心に、訪日外国人の増加が続いています。**2018 年は 1,241 万人まで達し、ここ数年間の伸びは全国、関東を上回っています。**また、近畿の**外国人旅行消費額は 2017 年以降 1 兆円を超え、全国の 4 分の 1 を占める水準で推移しているほか、宿泊施設の客室稼働率は高止まり、商業施設やホテル等の開発が活発化し、商業地の地価上昇率は全国でも高い水準となるなど、インバウンドの増加は関西経済の押し上げに大きく貢献しています。**

国内では、日本がベスト8入りするなど、今年大盛況となったラグビーワールドカップ日本大会を皮切りに、2020年には東京オリンピック・パラリンピック、2021年には関西でワールドマスターズゲームズ、2025年大阪・関西万国博覧会の開催が予定されるなど、**インバウンドの更なる増加が期待**されています。



◆ 昨年、「関西の魅力発信」をテーマに
シンポジウム&ミートアップイベントを開催

インバウンドの増加、今後の万博開催を控える中、近畿財務局では、府県の境界を超えた、関西全体の観光振興、関西の魅力発信やおもてなしのあり方について共に考える場を設け、当局の多様なチャネルを活用し、関西圏の自治体・金融機関・企業・大学等に参加を呼びかけ、新たな人的交流を促進することを目的として、**2019年4月インバウンド企画「2025年大阪・関西万博開催までにできること」**を開催（共催・関西大学、関西観光本部）し、各方面の参加者の方々からの御好評をいただきました。



※昨年イベントの様様



新たな出会い、次なる取組みへ

前回イベントに御参加いただいた西日本旅客鉄道(株)から近畿財務局へ協働のオファーを頂きました。

インバウンド集客と地域活性化の観点では、**JR大阪環状線では東側がメインで、西側についてはポテンシャルがありながら、その魅力をうまく発信できていない**との課題認識と、来場者数約 2,800 万人が想定されている「2025 年大阪・関西万博」を見据え、「**沿線地域の活性化のために何かできないか**」という思いから、今回インバウンド企画の第 2 弾を実施する運びとなりました。



本企画のポイント

Point 1 外国人観光客に『刺さる』大阪のPRを！

従来の日本人の視点を離れ、外国人観光客の目線に立って、大阪の魅力や課題、効果的な PR が何かを考える。

Point 2 ガイドブックでは分からない街の魅力を探る！

実際に足を運び、自らの五感で、**ネット情報やガイドブックでは分からない街の雰囲気、人情、活気を感じ取り**、大阪の魅力を PR する新たな切り口を見つける。

Point 3 世代や立場を超えた協働！

JR、財務局、大阪の未来を担う大学生とそれぞれ異なる立場・組織の人間がフラットな関係で一日を共にし、一つの目標に向かって全力で取り組む。互いに刺激し合い、多様な意見が生まれるなど、一つの組織だけでは起こりえない化学反応を期待。



当日の流れ

参加者：近畿財務局ちほめん、JR西日本の若手職員、関西大学学生

I. 基調講演

II. フィールドワーク

J R大阪環状線の西側エリア（大阪駅から新今宮駅間）を4つに分け、それぞれ4～5名の班を構成し現地を取材。

Ⅲ. グループワーク

フィールドワークの班ごとに現地視察の内容を基に地域の PR 成果物とその作成方法等を検討。

IV. 交流会



Keynote Speech



全国通訳案内士（英語）

服部 花奈 氏 Kana Hattori

大手電機メーカー社内通訳・翻訳を経て、2009年に全国通訳案内士（英語）として独立。これまで案内したお客様は、ハリウッド女優やNBAバスケットボール選手などVIPを含め3000名を超える。知的欲求の高い欧米からの富裕層を中心に、京都であれば着物で案内、熊野古道や中山道などの古道も健脚で案内、茶の湯・三味線・狂言も学び続けるなど文武両道派通訳案内士。通訳案内の他、通訳、翻訳、飲食店・宿泊施設向けの「外国人観光客おもてなし講座」、個人向けの「和文化×英語講座」、観光学生向けの「ホスピタリティ講座」などの講師活動も行う。

外国人の目から見た日本の魅力と課題 英語通訳案内士の視点から

全国通訳案内士の服部花奈氏より、外国人・訪日観光客から見た日本・大阪の魅力や話題など、フィールドワークを行うにあたっての着眼点について、自身のガイド経験談を交えながらご講演いただきました。

※ 全国通訳案内士とは、国家試験に合格し、高度な外国語能力や日本全国の歴史・地理・文化等の観光に関する高い知識を有する者で、単に語学力が優秀であるだけでなく、日本に関する幅広い知識と教養を持って日本を紹介する民間外交官とも言われる。

◆外国人の日本観光。押さえておくべきポイントは？

まず、日本の魅力と言えば一番はやはり「食」。調理方法が分かりやすいということは、外国人観光客に受けるポイントの一つです。例えば、懐石料理のように調理方法が複雑すぎたり、きれいになりすぎたりして、何を食べているか分からなくて怖いと感じる方が結構います。そういった方には家庭料理に近い、居酒屋っぽい料理の方が喜ばれます。

日本の精神文化や歴史を知りたいという方もいれば、写真できれいな風景を撮りたい方もいます。一方で、美しく伝統的な風景ではなくても、漢字だらけの壁に欧米人が写れば絵になって写真映えることもあります。このように、外国人観光客は人によって何に興味を示すかが異なります。

また、日本を売り出す際に、日本人が当たり前前に思っていることが、外国人にとっては当たり前ではないことがたくさんあります。その時に外国人観光客は「日本ではこうです」というだけでなく、「なぜ日本ではこんなのか」という背景のストーリーも知りたいと考えます。こういったストーリーをリーフレットやウェブサイトに載せて発信することも非常に大事だと思います。

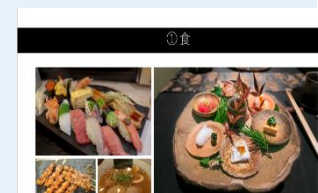
◆大阪には何を求める？ ～“カオス”な“食”の街～

外国人観光客にとって大阪は、すごくエネルギッシュでカオスな街という印象です。カオスとは悪い意味ではなく、ごちゃごちゃとしていても「大阪はこれなんだ」と面白くできる魅力があるということです。

食のメッカとしても有名で、フードツアーとして大阪に来られる方も多いです。また、大阪はキャッシュレス決済ができるお店が多かったり、市場については食べ歩きのためにゆっくり食事できるスペースが確保されていたりと、外国人の受け入れ態勢が整っている印象を受けます。こういった大阪の魅力がどんどん世界中に広がって、ファンが増えたらいいなと思っています。



真剣なまなざしで聞き入る参加者



① 食



② 日本らしい風景・体験



③ 期間限定の四季の美



④ フォトジェニックな風景

講演資料（抜粋）

Field-Work

PLAN

大阪北側の主要駅である大阪駅に加え、福島駅・野田駅エリアを担当しました。

大阪駅周辺の観光地は既に知り尽くされているのではないかと考え、**福島駅・野田駅を中心にインバウンド向け観光スポット**を探しました。

大阪～野田 エリア



VISIT

中央卸売市場 (野田駅徒歩 10 分)



お昼過ぎに到着したところ、既にせりは終了しており、静かで広い空間が広がっていました…。朝に来ると楽しめそうな場所でした。

中央卸売市場の新鮮なネタが使われた寿司屋で昼食をとりました。メニューは「おすすめ」一択、かつ価格も分らず、緊張する場面も。



了徳院
(福島駅徒歩 5 分)
東寺真言宗の仏教寺院である了徳院。福島の飲み屋街を抜けたところに佇み、都会の喧騒を忘れさせてくれる落ち着いた雰囲気でした。

地域住民に愛される商店街の中にある仏像カフェで一息つきました。店内には仏像がひしめき独特の雰囲気、日本上級者のインバウンド客におすすめしたい場所でした。

野田新橋筋商店街 (野田駅徒歩 5 分)



梅田スカイビル (大阪駅徒歩 10 分)



「世界の建築トップ 20」に選ばれたことで、海外から注目を集めている梅田スカイビルは、展望台だけでなく飲食店やイベントも充実していました。



PLAN

言わずと知れた USJ への唯一の鉄道経路であるゆめ咲線ですが、USJ の先には、2025 年大阪・関西万博の会場予定地である夢洲、またその手前にはスポーツアイランドとして名高い舞洲があります。今回、舞洲のまだあまり知られていない隠れた魅力にスポットを当てるべく、**インバウンドが好みそうな体験型施設や、インスタ映えるスポット**に重点を置いたルートを探しました。

西九条～桜島 エリア



VISIT



シーサイドパーク (桜島駅からバスで 15 分)

4～5 月にはネモフィラを鑑賞することができます。ネモフィラとは、北アメリカ原産の一年草で、和名を瑠璃唐草（リリカラクサ）といいます。鮮やかなブラチナムブルーに一面が広がり、海と空の織りなす眺めはまさに絶景！インスタ映えること間違いなしです。

ヘリポート (桜島駅から送迎車で 10 分)

朝から夕方まで遊びまわった後は、大阪の夜景で一日を締めくくりましょう。大都市大阪の夜景はもちろんのこと、昼間であれば、世界遺産に登録された堺の仁徳天皇陵もパッチリと眺めることができます。

BBQ (桜島駅からバスで 15 分)

舞洲はスポーツアイランドであると同時にバーベキューアイランドの一面もあります。いくつかの BBQ 施設があり、手ぶらでも利用することができます。おもいつき BBQ を楽しみましょう！



舞洲工場 (桜島駅からバスで 10 分)

思わず目を引き付けられるその外観。ごみ処理場である舞洲工場は、ウィーンの芸術家によってデザインされました。10 日前までの予約で、施設内を無料で見学することができます。技術・エコロジー・芸術が調和する新たな世界に触れてみてはいかがでしょうか？

舞洲陶芸館 (桜島駅からバスで 15 分)



舞洲陶芸館には、関西最大級の大型登り窯があります。電動ろくろや手びねり体験ができるため、外国人の方にも喜んでもらえそうです。当日予約も OK！

Field-Work

PLAN

大阪の『リトル沖縄』こと大正区。飲食街や商店街には様々な沖縄料理店や沖縄商品を扱うお店が軒を連ねています。また、工業も盛んな地域で多くの製造業が工場を置くほか、区全体が河川に囲まれており、渡船から眺めるアーチ形水門などの景色も見どころです。

今回は、そうした大正区の魅力を感じられるルートに絞って探索しました。

VISIT



飲食街

(大正駅徒歩 2 分)

各種の居酒屋が立ち並び、目につくのは琉球赤瓦。多くのお客さんがメニューを埋め尽くす沖縄料理に舌鼓を打っていました。

八坂神社

(大正駅徒歩 8 分)

飲食街から歩くこと 5 分。閑静な住宅街の中に現れる荘厳な御社。喧噪から離れ、心落ち着くひと時が味わえます。



平尾商店街

ここぞ大阪の『リトル沖縄』。各お店には沖縄の飲み物や食べ物が様々並べられており、本通りには少し南国の雰囲気すら漂っています。



泉尾商店街

活気あふれる商店街。大正の方々は家庭の食材等をこちらで調達しているようです！お惣菜屋「いろどりや」さんで食べたカラアゲは絶品でした！！



木津川水門

(木津川駅徒歩 10 分)

全国でも大阪でしか見ることのできないアーチ形水門。落合上渡船場から出る船に乗り、夕日に照らされる美しい情景が楽しめます。



弁天町～大正エリア



PLAN

大阪のシンボリック的存在である通天閣を擁する新世界、天王寺動物園、黒門市場など、観光資源は豊富な地域。今回は、難波～新今宮を中心に、新世界などのメジャーなスポットは避けつつ、インバウンドが好みそうな食、日本文化、アートなどに重点を置いたルートを探索しました。

VISIT



難波八坂神社

(JR 難波駅徒歩 5 分)

日本の精神を体感できるだけでなく、インバウンドの獅子殿は圧巻。絵馬には世界中の様々な言語で願いが込められていました。



木津卸売市場

(新今宮駅徒歩 11 分)

発祥 300 年の歴史を有する大阪の台所。市場の雰囲気を堪能できるだけでなく、場内の飲食店も多く、グルメスポットとしての魅力も感じました。



鈴成座

(新今宮駅徒歩 16 分)

下町人情が残る鶴見橋商店街に根付いた大衆劇場。観客と役者さんの距離が近いのも大衆演劇の醍醐味の一つです。



西成ウォールアートニッポン (西成 WAN)

(新今宮駅徒歩 1 分)



突如現れるウォールアート。グラフィティ・アーティストと地元の子供たちが描いたもので、ポップな配色が街を明るく彩っていました。

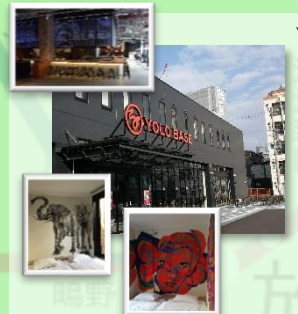
新今宮～芦原橋エリア



YOLO BASE

(新今宮駅徒歩 2 分)

外国人の就労サポート拠点でありながら、至るところにアート作品が展示されたまるで美術館のようなホテルも併設。客室毎に異なる作品は必見。



今宮戎神社

(新今宮駅徒歩 10 分)

古くから商売の神様と慕われるえべっさん。普段はとても静かで、侘び寂びの趣を感じることができました。



Group-Work



◆参加者それぞれが自らの感性で意見を交わし、一つのアイデアを纏め上げる。

大阪～野田エリア

福島は飲食街は遅い時間に栄える一方で、中央卸売市場は早朝に行けばセリ現場などの良いものが見られる。それぞれのスポットでベストの時間帯が異なることから、タイムスケジュールを示した観光案内が重要。また、それぞれのスポットで関わる（働く）人たちの個性やバックグラウンドなども同時に紹介できれば、観光情報として深みが増すのではない。これらの情報を盛り込んだポスターやパンフレットが効果的と考える。

西九条～桜島エリア

当エリアは夢洲が万博・IRの準備地であり将来的なポテンシャルは高いが、現時点ではUSJが観光の中心。USJに遊びに来た客の二日目をいかに繋ぎ止めるか。近隣でみると、有名建築家が設計したゴミ処理施設の見学や、陶芸体験、サーキット体験、ヘリ遊覧など舞洲には多くの体験型コンテンツがあった。コンテンツごとに所要時間・料金・予約時期などの情報を盛り込んだポスターやパンフレットが有用と思われる。

弁天町～大正エリア

エリアは広いが、一日で一円を楽しむことができる。沖縄料理店などが多い商店街や、渡船場、全国でも珍しいアーチ形水門などが見どころ。市民の暮らしの部分だけでなく、工場地域もあることからオープンファクトリー（モノづくり体験）なども組み合わせた観光プランが理想。さらに理想を言えば、宿泊施設の充実や駅を拠点にレンタサイクルなどの足があれば、観光客を呼び込みやすくなると思う。

新今宮～芦原橋エリア

名物神社や、ウォールアート、アーティスティックな宿泊施設などフォトジェニックなスポットが豊富。安くて美味しいグルメも強み。昭和の雰囲気が残る商店街や大衆演劇場など、とにかく様々な魅力が詰まった地域だった。そのような地域だからこそ、色々な写真をごっちゃ混ぜに配置するなど、あえて大阪のカオスな雰囲気を前面に押し出した形で、ポスターやSNS配信等によりPRすれば訴求効果が得られるのではない。

Meet-up



◆ 自らの目で地域の課題に向き合い、意見を交換。そして一日の締めくくり。

JR 西日本職員、大学生、財務局職員が協力して沿線地域の活性化のヒントを探る今回の企画でしたが、その締めくくりとなる交流会には参加者以外の多くの方々にも参加いただきました。

交流会は、フィールドワークやグループワークを通じて親交が深まった流れをそのままに、終始和やかな雰囲気で行いました。また、積極的に名刺交換や意見交換が行われている姿も見受けられ、新たな人的交流の促進や地域活性化に向けたモチベーション共有の一助になったのではないかと思います。

交流会では、JR 西日本の幹部職員の方々や財務局幹部職員の参加もあり、積極的に若手職員や大学生との交流を図るなど、盛り上がりも見せつつ、会は盛況のうちに終了しました。

◆ 参加者の声

【基調講演】

- ・ 直接外国人を相手にしている方ならではの視点がたくさんあり、目から鱗のような気づきをたくさん得ることができた。
- ・ 日本人の視点を離れ、外国人の目線に立って大阪の魅力を PR することで、より効果的に伝えることができると感じた。
- ・ 海外の方から見た日本や大阪に求めているもの、課題を知ることができた。
- ・ 日本人にとっては何でもないことでも外国人には魅力的に映る、その感性の違いが興味深かった。

【フィールドワーク&グループワーク】

- ・ グループメンバーが初対面だったが、フィールドワークで特に打ち解けることができた。
- ・ フィールドワークの中で参加者がそれぞれの得意分野の知識を共有し、活発に発言することができたのでとても有意義だった。
- ・ いつもと違う視点で街中を見て回ったこと、普段降りない駅で実際に街歩きできたことで、自分の知らない大阪の魅力に気付くことができた。
- ・ ネットで調べた情報と現場にはギャップが多くある。思いのほかよかった点や想像以上にがっかりした点などを肌で感じるためにもフィールドワークが重要であった。
- ・ フィールドワークで参加者の交流が深まったことで、その後のグループワークでは活発な意見交換ができ、通常のイベントよりも参加者同士の親交を深めることができた。

【全般】

- ・ 普段は関わる機会がない異業種の方々と一日を共にすることができ、視野を広げることができ貴重な経験となった。
- ・ 基調講演でのインプットがその後のフィールドワークとグループワークでアウトプットすることができたので構成としても良かった。
- ・ 外国人目線で考えるというのは難しかったが、年代も環境も違う人が一堂に会することで、意見交換が活発化され、広い視野をもって新たな視点や発見を見出すことができた。